

ことばの歳時記 ～5月の季語～

日本では、毎年4月末から5月初めにかけての祝日や国民の休日、土・日曜日などが連なる期間を、一般的にゴールデンウィーク（黄金週間、GWと略す場合もあります）と呼び、大型連休ともいいます。この期間を利用した泊りがけの旅行や帰省、行楽などのために遠距離を移動する人も多く、海外旅行に出かける人たちもいます。

この期間は全般的に「五月晴れ（さつきばれ）」と呼ばれる晴天が多く、「薫風（くんぷう）」と呼ばれる南風が野や山々の新緑の草木を渡ってすがすがしく吹いてくる、レジャーに適した時季でもあります。

ちなみに、「五月晴れ」は江戸時代から用いられていたことから推測すると、ここでの5月とは陰暦で、今の太陽暦の6月をさしており、もともとは梅雨の晴れ間をさす言葉であったと思われますが、現在では、5月の晴天のことをいいます。

5月は「皋月（さつき）」とも書き、田に早苗を盛んに植えるので「早苗月」とっていたのが略されたものという説があり、稲作が始まる月を意味するという説が一般的です。

词语的岁时记 5月的季语

在日本，每年从4月末到5月初期间中的节日和国民的假日、星期六、日等连在一起的期间一般叫作黄金周（也有时候简称为黄金周，GW），也或者称为大型連休。利用这期间进行进行外宿的旅行和回家探亲，游玩等而远距离移动的人也很多，还有的则去海外旅行。

这个期间全部被称为「5月晴天」的是晴天较多，被称为「熏风」的是南风穿过田野和群山的新绿的草木清爽地吹，也是适合休闲娱乐的季节。

顺便提及，从「5月晴天」的叫法始于江戸时代来推测的话，这里面所说的5月是阴历，指的就是现在的太阳历的6月，虽说本来认为是用来形容梅雨季节中的晴朗瞬间的词语，不过现在是指5月的晴天。

5月也写成「皋月」，因为把稻秧繁盛种植在稻田里、所以也有说「早稻秧月」是被简略之后的说法，开始稻作之月的意思则是普遍的说法。